

## 令和5年度 信学会栗田こども園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

### 1. 園の教育目標

「豊かな体験や遊び、さまざまな人との関わりを通して、自分で考え行動する子どもを育てる。」

### 2. 本年度の重点目標

「子どもの興味・関心に合わせた環境づくりとは」

### 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や保護者会、学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

### 4. 保護者アンケートなどから

- ・子ども主体の保育、子どもの興味を伸ばしてくれる。
- ・担任以外の先生も子どもの様子をよく見て教えてくれる、どの先生も笑顔で話しやすい・親切。
- ・子どもの育ちがある（協調性、積極性、言葉の育ち、社会性、感性、話が聞けるなど）
- ・子どもが楽しそうに通っている。
- ・家でできない遊びや経験ができる
- ・園全体で見守ってくれる雰囲気。安心できる。
- ・連絡帳や写真で子どもの姿を共有できる

### 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・今年度は、県のフィールド研修の実践園として参加し、保育の質の向上に努めた。チームで保育する大切さを学び、職員が一人一人の子どもたちにより丁寧に関わるようになったことで、子どもたちの主体的な遊び（学び）につながっていったと感じる。
- ・今年度は園舎内の環境作りに力を入れたが、近年、転びやすく、体の使い方が不器用な子どもが増えているのが気になる。来年度は、園庭や遊戯室の環境についても力を入れていきたい。